電子資料(データベース・電子ジャーナル・電子ブック)を正しく使うために

早稲田大学図書館
利用案内 No. 27
2025 年 2 月 28 日

早稲田大学図書館では、本学構成員を対象に、数多くのデータベース、電子ジャーナル、電子ブック等の電子資料を提供しています。

これらの電子資料を利用することにより、膨大な学術情報の中から求める論文等を検索し、全文を容易に入手することができます。一方で、その利用方法は大学とサービス提供元との契約によって定められており、利用規定に違反すると、その個人だけでなく大学全体の利用が停止されてしまうことがあります。

全学共有の情報資源として適正な利用を心がけ、電子資料を学生生活や教育・研究活動に大いにご活用ください。

利用規定を事前に確認

電子資料の利用者には、サービス提供元によって定められた利用規定を遵守する義務があります。電子資料によって利用規定は異なりますので、知らず知らずのうちに不適切とみなされる行為を行ってしまう危険性もあります。

利用に際しては、各サイトの「利用規定」や「Terms and Conditions」等に記載されている利用規定を必ず確認してください。

一般的な禁止事項

利用規定は電子資料によって異なりますが、一般的に次の利用は禁止されています。



- 利用を認められた者(原則として本学教職員・学生等)以外に電子資料を利用させること。
- 個人利用以外の目的で内容を複製・頒布・改変するなど、著作権を侵害する行為を行うこと。
- プログラム等を用いた機械的・自動的な検索・ダウンロード・印刷を行うこと。
- 短時間に大量のダウンロードを行うこと。
- 特定の電子資料の系統的・網羅的なダウンロードを行うこと。

裏面に続く

不適切な利用の例

思わぬ行動が「不適切な利用」とみなされ、サービス提供元から警告を受けたり、全学のサービスが停止されたりすることがあります。

◆ツールを利用して論文をダウンロードしたところ、機械的なダウンロードとみなされた。
→サービス提供元では機械的・自動的なアクセスを監視しており、疑わしい行為が検知されると、直ちに全学からのアクセスが停止される場合があります。電子資料を利用する際には、ダウンロード支援ソフト、リンク先読みツール、ロボット、クローラー等を使わないでください。

◆PDF を大量に連続して開いたところ、大量ダウンロードとみなされた。
→何時間で何件を超えると「大量ダウンロード」とみなされるかという具体的な基準は示されていませんが、たとえ手作業であっても、短時間に連続して多くの PDF を開いたり、一つのリンクを連続してクリックすると、データの保存の如何にかかわらず、大量ダウンロードとみなされる恐れがあります。
また、大量のデータを長期にわたって保存してはいけません。

◆ある電子ジャーナルの一年分すべての論文を続けてダウンロードしたところ、系統的なダウンロードとみなされた。
→雑誌 1 巻分全てを一度にダウンロードするなど、特定の電子資料の系統的・網羅的なダウンロードは認められていません。検索結果を吟味して必要な部分のみダウンロードしてください。

不適切な利用に対する対応

不適切とみなされる利用が確認された場合、サービス提供元から状況の調査と防止策の提示が求められます。図書館は、その利用者の所属学部等に連絡して状況を調査します。不適切な利用の内容によっては、大学はその利用者に対して相応の処分を行うことがあります。

問い合わせ先・参考 URL

早稲田大学図書館　Email：info-wul@list.waseda.jp
「電子資料の利用上の注意（必読）」
https://waseda-jp.libguides.com/c.php?g=916896&p=6609964#s-lg-box-wrapper-24943142

以上